



優しく丁寧に指導する久津輪さん

輝いています

アトリエまある 指導者

ひと

久津輪 万里 さん

創造の喜びを子どもたちに

「自 由な発想で楽しみながら作ってほしい」。繰り返し話すのは、南町2丁目「こどものための造形室・アトリエまある」で幼児から小学生を対象に絵画や造形の創作指導を行う久津輪万里さん（中央1丁目）です。市内の児童館や公民館で講師としても活躍しています。

自宅が幼稚園という環境で育った久津輪さんは、もの心ついた頃から周囲にあるクレヨンや色紙などを使って自由に遊び、以来創作が趣味に。大学ではデザインを専攻し、卒業後はソフト会社でデザインを手がけました。

結婚後、自分の仕事を持ちたいと考えていた久津輪さん。

息子に幼少から自由な創作に親しんでほしいと思ったことがきっかけで、子ども向けの美術教室を開くことを決意しました。都内の教室で1年間勤務して指導法を学んだ後、平成8年に自宅を開放しアトリエまあるをスタート。その後現在のアトリエへ移転し、これまで20年以上にわたり地域の子どもたちに創造の場を提供し続けています。

子どもたちが取り組むのは、水彩画などの平面作品や粘土、紙工作などの立体作品。決まった型にはめ込まず、自主性や個性を尊重する久津輪さんの下で伸び伸びと作る子どもたちは、上手に作ることも思いのままを自由に表現することが得意です。「自分も子どもたちと楽しみたい」と話す久津輪さん。思いがけない発見をして子どもたちといっしょに感動するのが何よりの楽しみだそうです。

「夢中になって楽しめるものに出合ってもらえたら」。今月の6日と7日にはアトリエまあるで年に一回の文化展が開催され、子どもたちによるユニークで魅力的な作品の数々が、訪れる人たちの目を楽しませてくれます。

今月の河鍋暁斎記念美術館

天才絵師の作品 巖にあり

— No.29 —

天照大神が天の岩戸に隠れ、世界が暗闇になってしまったため、天鈿女命があられもない姿で舞い、手力男命が岩戸を開けて、中から天照大神を連れ出したという日本神話の一場面が描かれています。

なお、この作品は国語の教科書の副読本などに、日本神話を象徴する絵としてよく用いられています。

河鍋暁斎記念美術館

「暁翠生誕150年記念
暁翠のお手本・画稿」展
同時開催「立原位貫 復刻版画」展
期間=10月24日(水)まで

開館=午前10時～午後4時
休館=木曜日・毎月26日～末日
ところ=南町4-36-4
入館料=一般600円 中学生～大学生500円
小学生以下300円
(20人以上の団体は要予約)
詳細=同館 ☎441・9780



現在の茨城県古河市に生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治9年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勲業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の暁翠も日本画家。



かわなべ きょうさい
河鍋 暁斎
天保2年(1831)
～明治22年(1889)



暁翠筆「天の岩戸図」
紙本・墨画彩色 軸装・双幅

本作品は現在の展覧会で御覧いただけます



展覧会の詳しい内容は美術館のホームページをご参照ください

